

平成 27 年度

文京学院大学  
卒業生意識調査

平成 28 年 4 月

# 目次

I. 調査企画.....	3
1. 調査の目的 .....	4
2. 調査の実施要領 .....	4
II. 調査結果.....	5
1. 大学への入学に大きく影響したこと .....	6
2. 在学中の通学拠点 .....	7
3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期.....	8
4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと .....	9
5. 在学中に心配だったこと .....	10
6. 在学中の満足度 .....	11
7. 家庭で話題になったこと .....	13
8. 学生生活に対する総合満足度 .....	15
9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたと思うか .....	16
III. 因果分析結果 .....	17

## I. 調査企画

---

## 1. 調査の目的

文京学院大学は、自立と共生を教育理念として、さまざまな教育研究への取り組みを展開してきた。

昨年に引き続き、より一層の教育力向上を図るための参考資料として、卒業生のアンケート調査を実施した。

## 2. 調査の実施要領

### (1) 調査対象および回収サンプル数

平成 27 年度本学院の卒業生を対象とし、卒業生 626 名から回答を得た。

内訳は以下の通り。

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
卒業生	180	141	140	191	652

### (2) 調査方法

卒業生は・・・(詳細が解りかねるため、割愛)

### (3) 調査時期

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部
卒業生				

### (4) 調査内容

1. 大学への入学に大きく影響したこと
2. 在学中の通学拠点
3. 大学の活動によって自分自身が変わった、あるいは成長したと感じた時期
4. 成長ぶりを強く感じたこと
5. 在学中に心配だったこと
6. 在学中の満足度
7. 家庭で話題にしたこと
8. 学校生活に対する総合満足度
9. 家族や親戚、知り合いに大学への入学をすすめようと思うか
10. 在籍中に自分自身にとってためになったこと、役立った制度、行事
11. 文京学院に対する意見・要望・不満・改善点

## Ⅱ. 調査結果

---

- ※ 学部別分析を行っておりますが、サンプル数が違うため参考としてお読み下さい。
- ※ 参考までに、全体の傾向を昨年度のデータと比較を行っております。

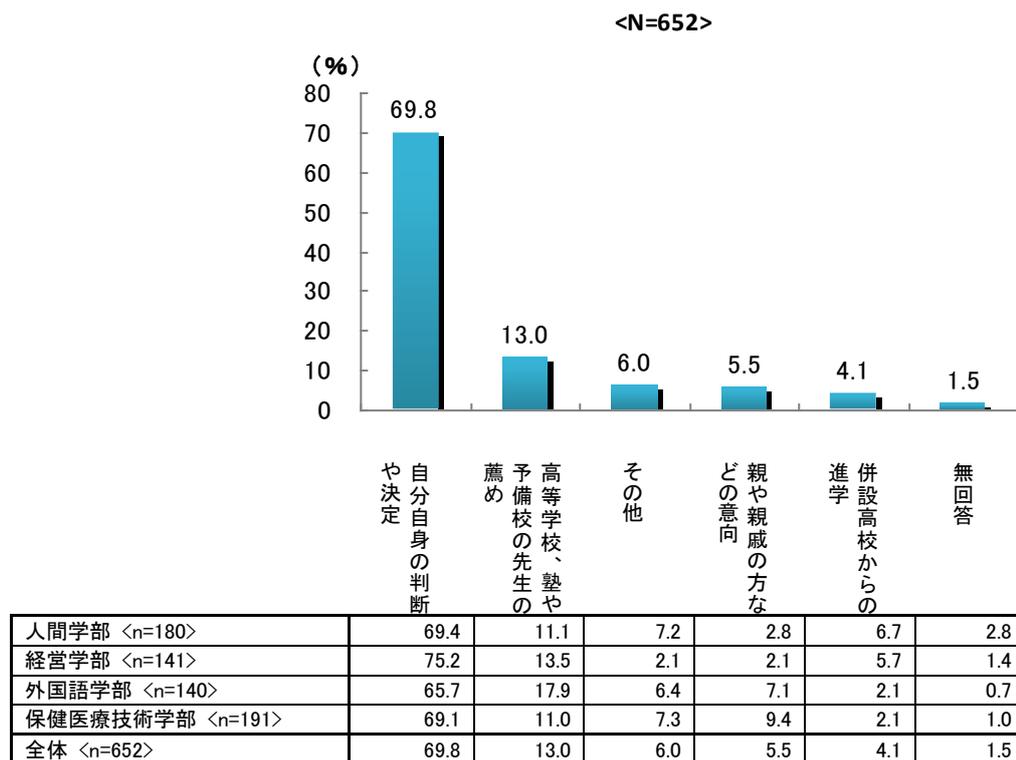
	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
昨年度卒業生	115	155	161	195	626
今年度卒業生	180	141	140	191	652

## 1. 大学への入学に大きく影響したこと

約7割(69.8%)が「自分自身の判断や決定」で選択している。

学部別に見た場合、【外国語学部】では「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(17.9%)、【経営学部】では「自分自身の判断や決定」(75.2%)が、他学部よりも比較的多め。

図 1-1. 入学に大きく影響したこと



卒業生全体で見ると、「自分自身の判断や決定」が約7割(69.8%)を占めている。2位は「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(13.0%)となっている。

この結果の順位を昨年度と比較すると、4位と5位が逆転している。昨年度4位「併設高校からの進学」は7.2%⇒4.1%と3.1ポイント減少し、今年度5位に。また、昨年度5位「親や親戚の方などの意向」は6.1%⇒5.5%と0.6ポイント減少しているが、今年度4位となった。項目別で見た場合、「自分自身の判断や決定」が60.9%⇒69.8%と8.9ポイント増加しているが、他の項目は全体的に昨年よりも減少した。

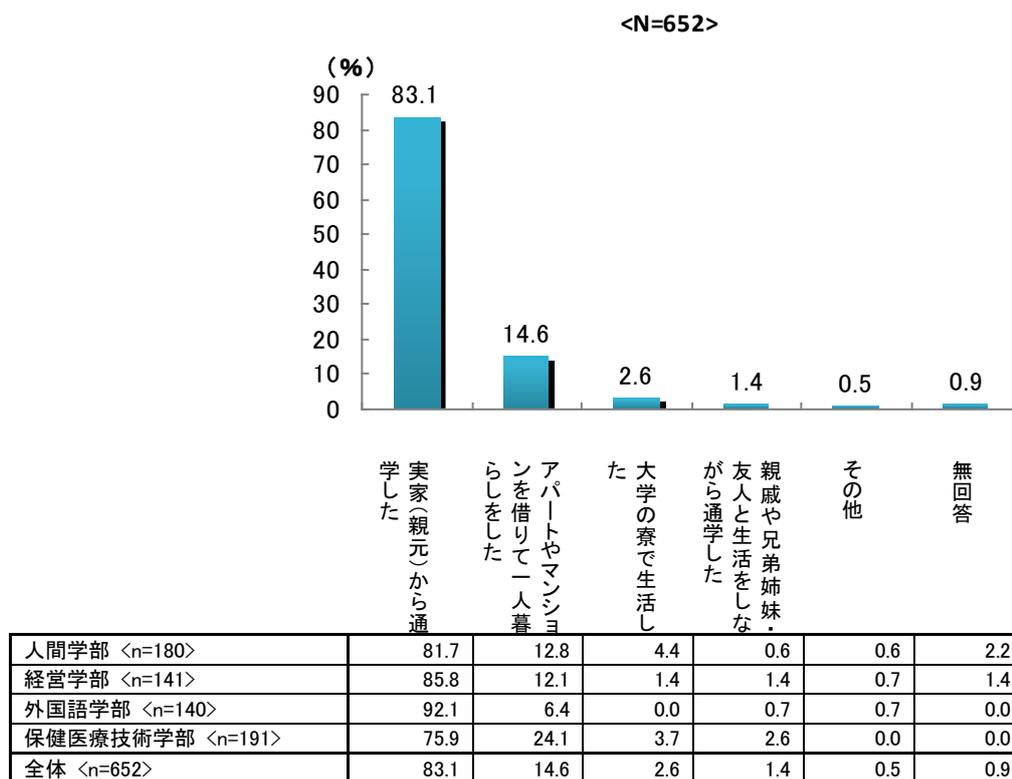
大学の学部別に見た場合、どの学部も「自分自身の判断や決定」が多く、【保健医療技術学部】(71.8%⇒69.1%と2.7ポイント減少)以外は、昨年よりも増加している。特に【経営学部】は49.7%⇒75.2%と25.5ポイントの増加となっている。

「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」では、【外国語学部】が14.9%⇒17.9%と3ポイント増加した以外は減少しており、特に【経営学部】では25.8%⇒13.5%と12.3ポイントの減少となっている。

## 2. 在学中の通学拠点

8割以上(83.1%)が「実家（親元）から通学した」を挙げ、多数を占めている。学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が、【外国語学部】では低め(6.4%)、【保健医療技術学部】では高め(24.1%)である。

図 1-2. 在学中の通学拠点



卒業生全体で見ると、「実家（親元）から通学した」が他を大きく引き離して、8割(83.1%)を超えている。続く「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が(14.6%)、「大学の寮で生活した」(2.6%)、「親戚や兄弟姉妹・友人と生活をしながら通学した」(1.4%)と続く。

この結果の1位と2位の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、1位の「実家（親元）から通学した」は79.2%⇒83.1%と3.9ポイントの増加に対し、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」は19.3%⇒14.6%と4.7ポイント減少している。

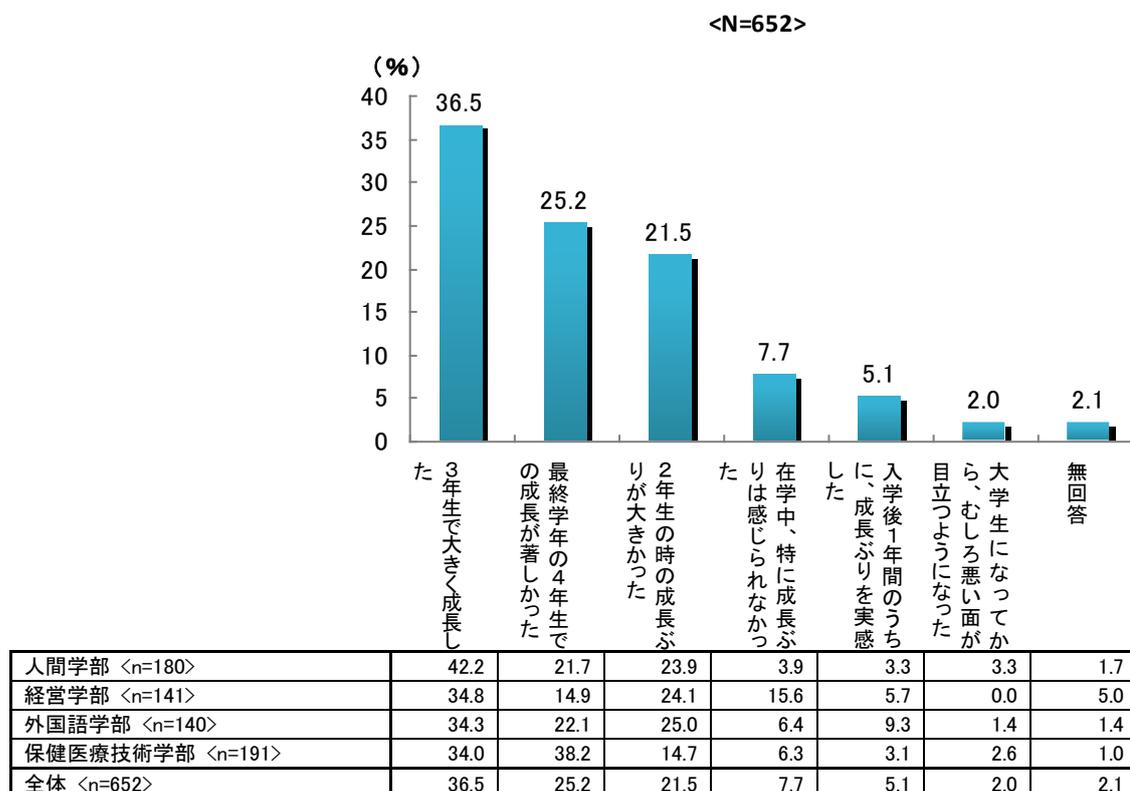
大学の学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が【外国語学部】は6.4%とやや低めである事に対し、【保健医療技術学部】では24.1%と多い。また、昨年度と比較した場合、「実家（親元）から通学した」は【外国語学部】【保健医療技術学部】は増加し、【人間学部】【経営学部】は減少している。

【保健医療技術学部】では、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」は38.5%⇒24.1%と14.4ポイント減少したが、「実家（親元）から通学した」が61.5%⇒75.9%と14.4ポイント増加した。

### 3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期

成長を感じた卒業生は 88.2%で、「3 年生で大きく成長した」(36.5%)が最も多い。  
成長したと感じた時期は、3 年生、4 年生（最終学年）、2 年生、1 年生 となっている

図 1-3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期



卒業生全体で見ると、「3 年生で大きく成長した」が 3 割以上(36.5%)と最も多く、「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」(25.2%)、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」(21.5%)、「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」(5.1%)と成長ぶりを感じた卒業生は 88.2%と 8 割を超える。対して、「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」(7.7%)、「大学生になってから、むしろ悪い面が目立つようになった」(2.0%)は、1 割にも満たない。

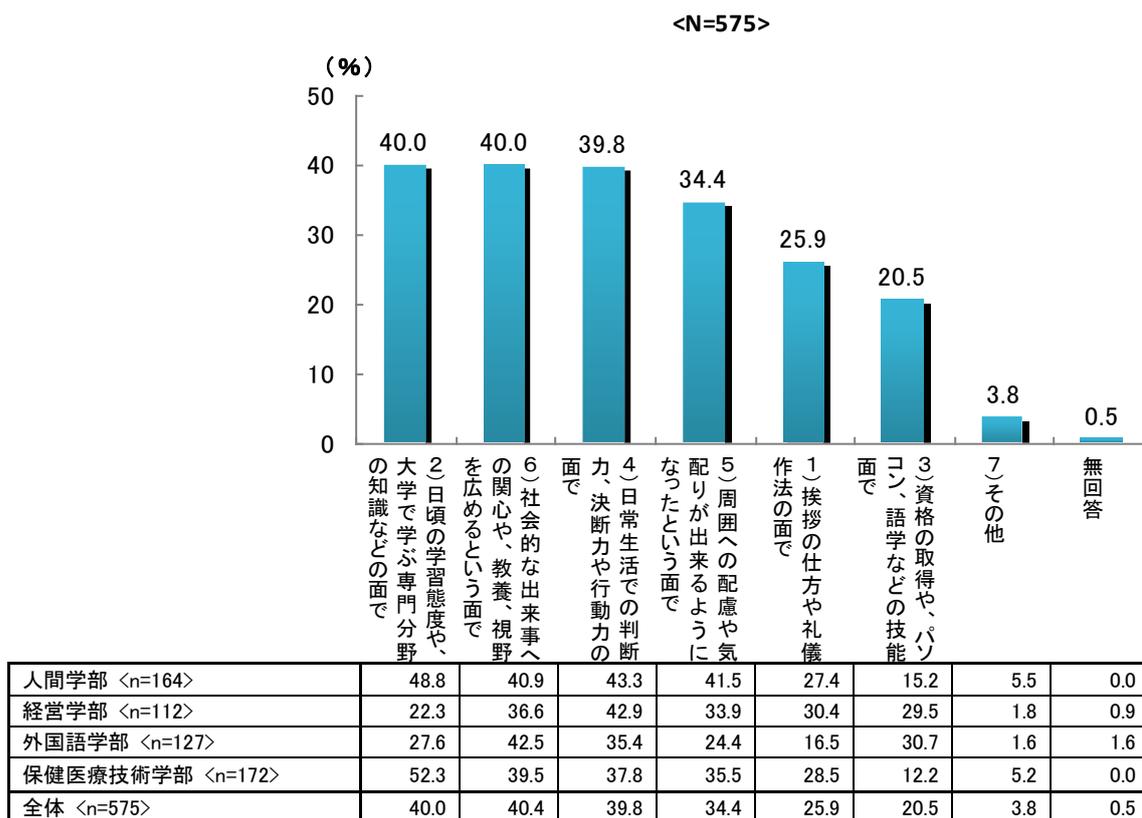
本結果の順位は昨年度と 4 位と 5 位が逆転している。昨年 4 位「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」は 7.7%⇒5.1%と 2.6 ポイント減少し今年度 5 位に。昨年 5 位「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」は 5.8%⇒7.7%と 21.9 ポイント増加して今年度 4 位となった。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は、「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」が 38.2%と他学部と比べ 16~23 ポイント多く上回る一方、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」は 14.7%と他学部よりも 9~12 ポイント低くなっている。【経営学部】は「3 年生で大きく成長した」が 30.3%⇒34.8%と 4.5 ポイント増加したが、「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」も 9.0%⇒15.6%と 6.6 ポイント増加している。

#### 4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと

「2) 日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」、「6) 社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」、「4) 日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」がそれぞれ 40.0%、40.0%、39.8%と約 4 割となっている。

図 1-4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと(成長ぶりを感じたと回答した人のみ)



3.で成長ぶりを感じたと回答した卒業生に対し、具体的にどの項目かの回答より、「2) 日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」、「6) 社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」、「4) 日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」がそれぞれ 40.0%、40.0%、39.8%と約 4 割となっている。続く「5) 周囲への配慮や気配りが出来るようになったという面で」(34.4%)も 3 割を超える。そこから少し開いて、「1) 挨拶の仕方や礼儀作法の面で」(25.9%)、「3) 資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」(20.5%)、となっている。

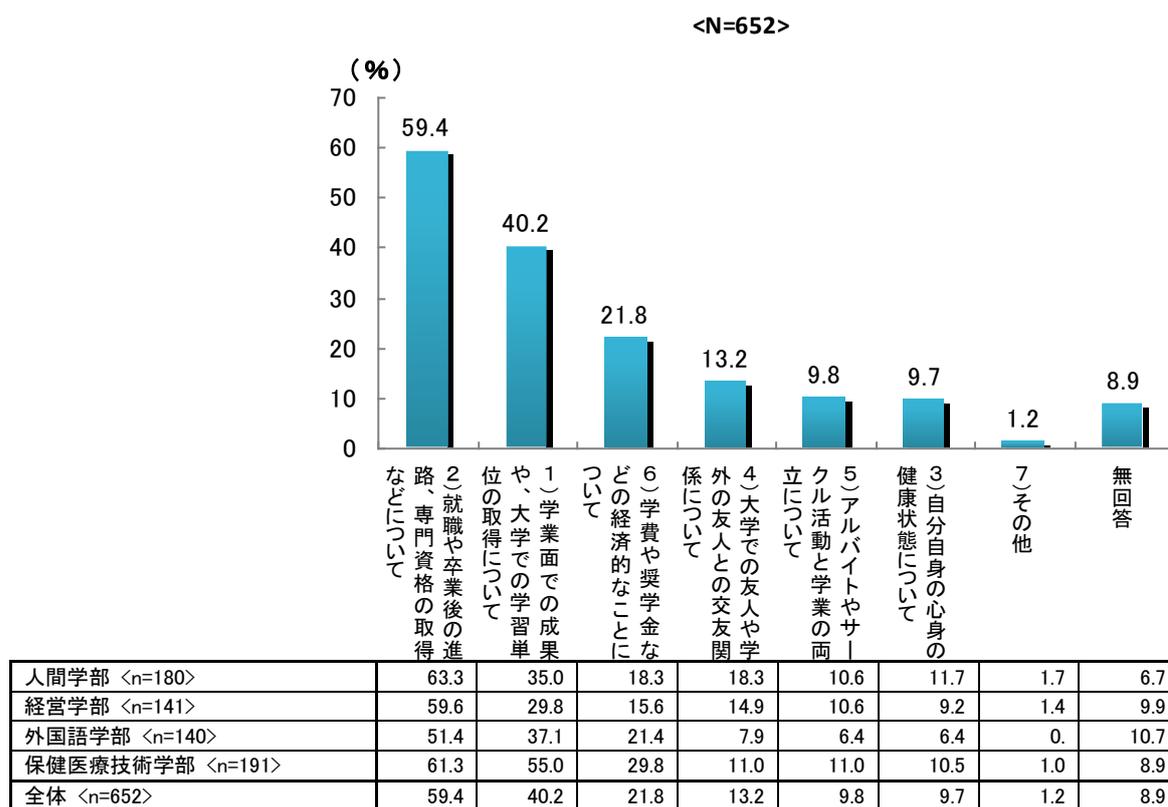
本結果の順位を昨年度と比較すると、5位と6位が逆転している。「3) 資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」は 23.6%⇒20.5%と 3.1 ポイント減少し今年度 6 位に、「1) 挨拶の仕方や礼儀作法の面で」は 23.1%⇒25.9%と 2.8 ポイント増加して今年度 5 位となった。

大学の学部別に見た場合、【外国語学部】は「5) 周囲への配慮や気配りが出来るようになったという面で」(24.4%)、「1) 挨拶の仕方や礼儀作法の面で」(16.5%)が他学部と比べ低い。

## 5. 在学中に心配だったこと

「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（59.4%）が圧倒的に多い。学部別で見た場合、【保健医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」が他学部よりも高めである。

図 1-5. 在学中に心配だったこと



卒業生全体では、「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（59.4%）が群を抜いて高い値となっている。続いて、「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（40.2%）が約4割、以下「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」（21.8%）、「4）大学での友人や学外の友人との交友関係について」（13.2%）、「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」（9.8%）、「3）自分自身の心身の健康状態について」（9.7%）となっている。

本結果の順位は昨年度と比較すると、5位と6位が逆転している。昨年5位「3）自分自身の心身の健康状態について」は11.8%⇒9.7%と2.1ポイント減少して今年度6位に、昨年度6位「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」は8.3%⇒9.8%と1.5ポイント増加して今年度5位となったが、その差は0.1ポイントしかなく昨年の3.5ポイントと比べ差は縮まっている。

大学の学部別に見た場合、【外国語学部】では「4）大学での友人や学外の友人との交友関係について」（7.9%）、「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」（6.4%）が他学部よりも低く、【保健医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（55.0%）が他学部よりも高めである。

## 6. 在学中の満足度

〈大変満足〉が約13%~42%の間で、〈どちらかという満足〉を合わせた《満足項目》では、約77%~89%と大半を占める割合となっている。

【保健医療技術学部】のポイントは、全体的に高い傾向にある。

図 1-6. 在学中の満足度

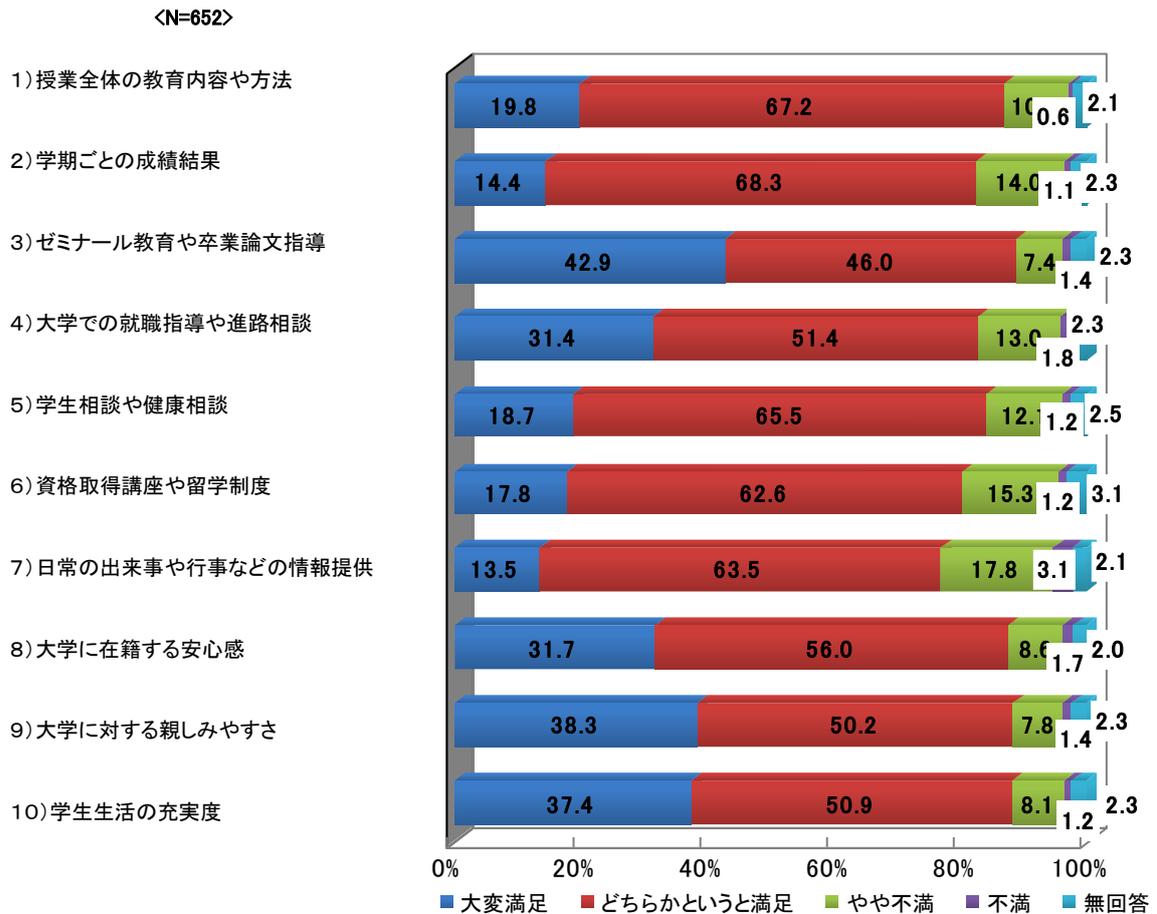
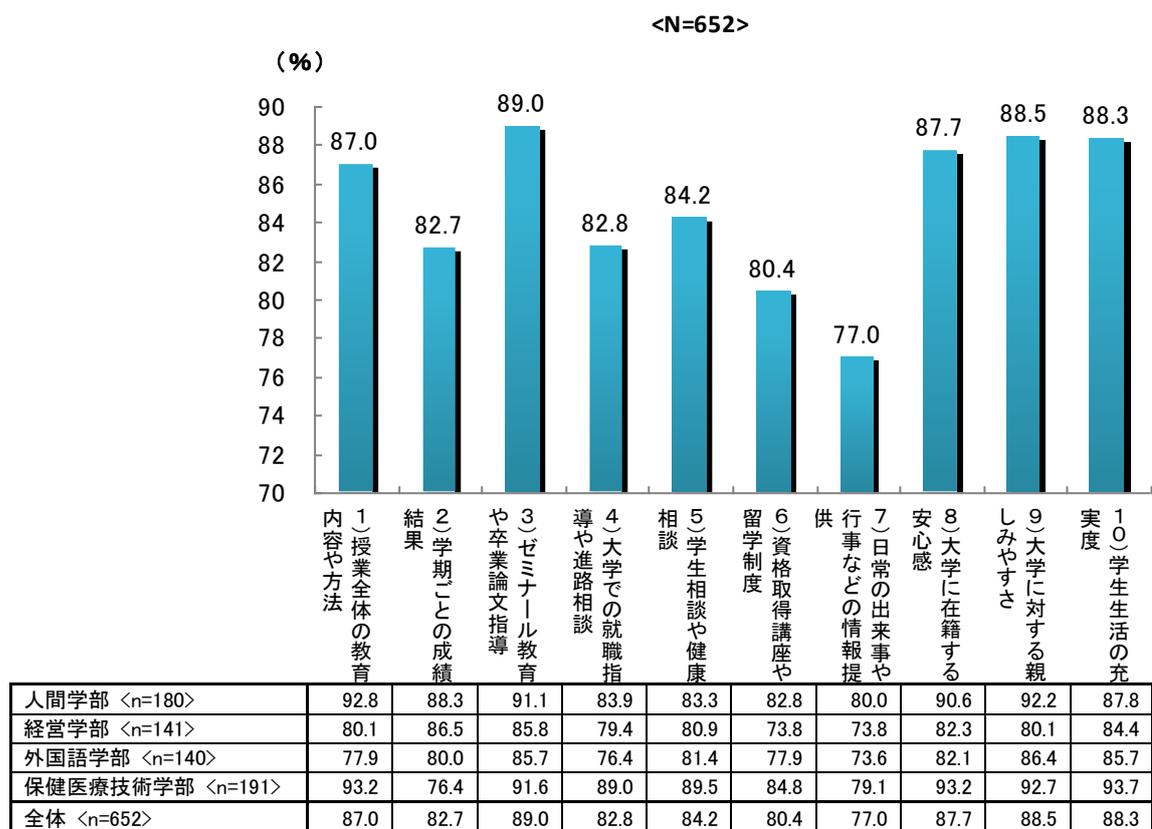


図 1-7. 在学中の満足項目（〈大変満足〉＋〈どちらかという満足〉）



卒業生全体では、《満足項目》では「3）ゼミナール教育や卒業論文指導」（89.0%）、「9）大学に対する親しみやすさ」（88.5%）、「10）学生生活の充実度」（88.3%）がいずれも88%を超える満足度を示し、〈大変満足〉もそれぞれ42.9%、38.3%、37.4%と約4割を示している。また、「8）大学に在籍する安心感」（87.7%）、「1）授業全体の教育内容や方法」（87.0%）も満足度が高い。その他の項目でも「7）日常の出来事や行事などの情報提供」（77.0%）以外の《満足項目》は80%以上ある。

昨年度と比較すると、《満足項目》では、「7）日常の出来事や行事などの情報提供」（77.0%）以外は80%を超えており、全体でみて24.9ポイントと大幅に増加した。多項目より低めの「7）日常の出来事や行事などの情報提供」（77.0%）でも、〈大変満足〉が13.1%⇒13.5%と0.4ポイント、〈どちらかという満足〉が58.0%⇒63.5%と5.5ポイント増加しており、《満足項目》では71.1%⇒77.0%と5.9ポイントの増加となっている。最も大きく増加した項目は、「1）授業全体の教育内容や方法」で80.4%⇒87.0%で、6.6ポイント増加した。

大学の学部別に見た場合、【人間学部】と【保健医療技術学部】が高い満足度を示している。なかでも【人間学部】の「7）日常の出来事や行事などの情報提供」は67.0%⇒80.0%と13ポイント、【経営学部】の「1）授業全体の教育内容や方法」は69.0%⇒80.1%と11.1ポイントと10ポイント以上の増加となっている。また、【外国語学部】では「1）授業全体の教育内容や方法」、「5）学生相談や健康相談」、「7）日常の出来事や行事などの情報提供」が、それぞれ9.5ポイント以上増加している。

## 7. 家庭で話題になったこと

〈かなり話題になった〉、〈少し話題になった〉を合わせた「話題になった」では、「3）就職や卒業後の進路のこと」(92.5%)が9割を超えている。

【経営学部】の「2）実習や留学などのこと」(41.8%)は、他学部よりも低め。

図 1-8. 家庭で話題になったこと

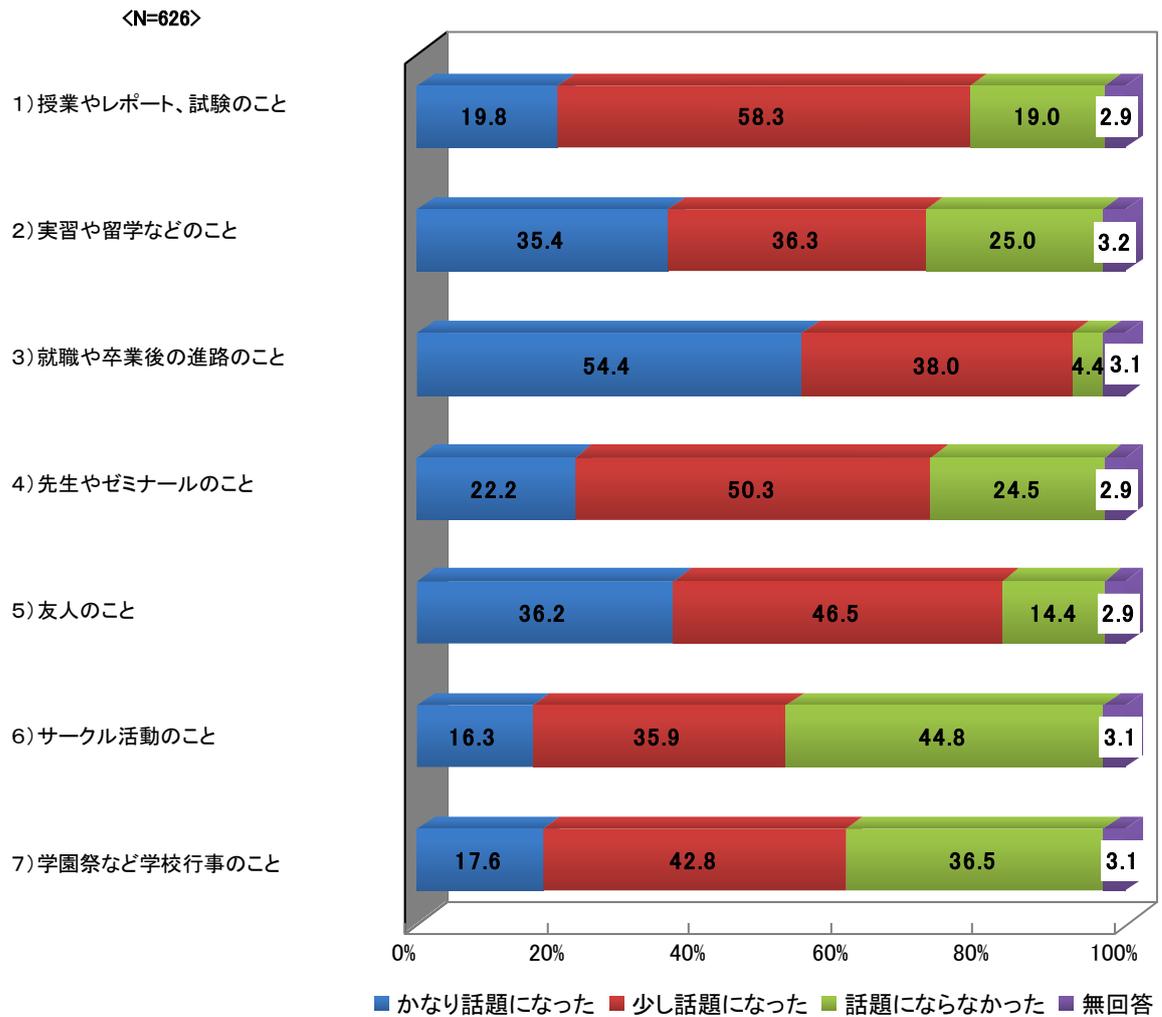
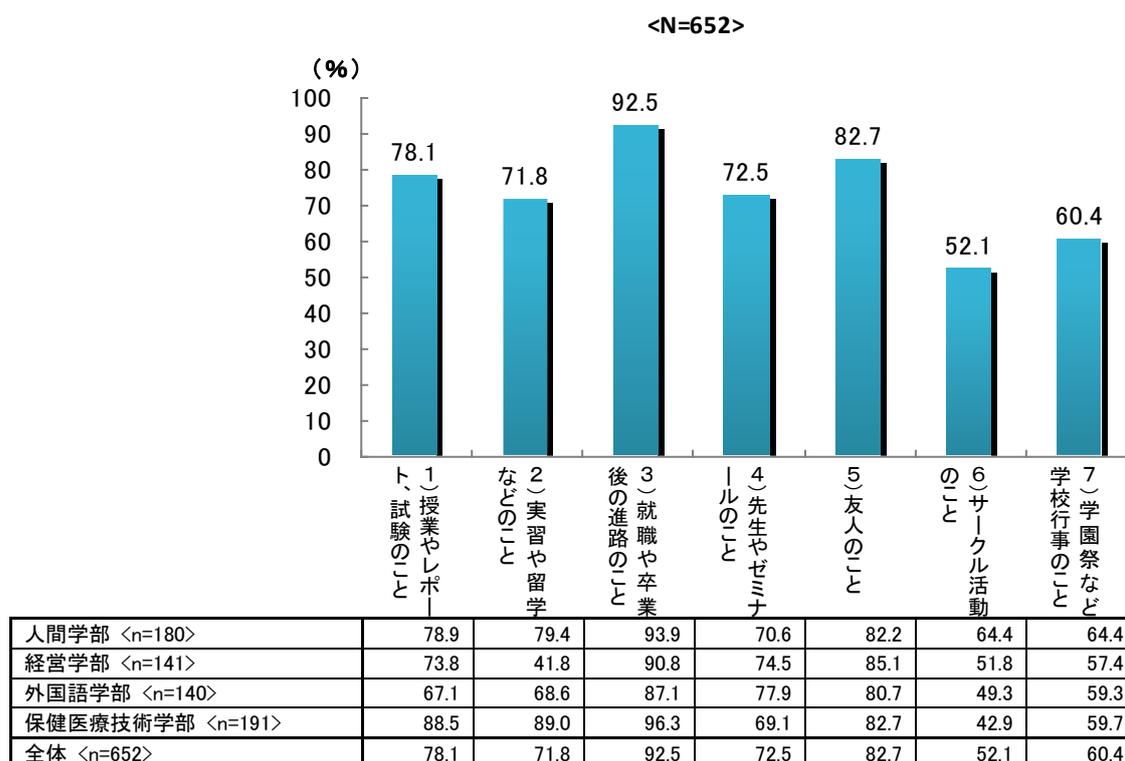


図 1-9. 家庭で話題になったこと（〈かなり話題になった〉＋〈少し話題になった〉）



卒業生全体では、「3）就職や卒業後の進路のこと」の〈かなり話題になった〉（54.4%）が5割以上を占めており、〈少し話題になった〉（38.0%）を含めると、92.5%と9割を超え、殆どの家庭で話題になっている。次に満足度が高いのが、「5）友人のこと」（82.7%）で〈かなり話題になった〉が36.2%、〈少し話題になった〉が46.5%となっている。また、《話題になった》で70%を超える項目として、「1）授業やレポート、試験のこと」（78.1%）、「4）先生やゼミナールのこと」（72.5%）、「2）実習や留学などのこと」（71.8%）があるが、〈かなり話題になった〉が30%を超えているのは、「2）実習や留学などのこと」の35.4%のみである。

昨年度と比較すると、《話題になった》割合では「4）先生やゼミナールのこと」が74.0%⇒72.5%と1.5ポイント、「6）サークル活動のこと」が53.0%⇒52.1%と0.9ポイント減少しているが、それ以外は0.3～3.5ポイント増加している。《話題になった》で最も増加した項目は「3）就職や卒業後の進路のこと」で89.0%⇒92.5%の3.5ポイント。また、〈かなり話題になった〉では、「4）先生やゼミナールのこと」25.2%⇒22.2%が3ポイント、「6）サークル活動のこと」16.9%⇒16.3%が0.6ポイントと若干減少しているが、それ以外は全体的に高くなっており、「1）授業やレポート、試験のこと」、「4）先生やゼミナールのこと」では5割を超えている。

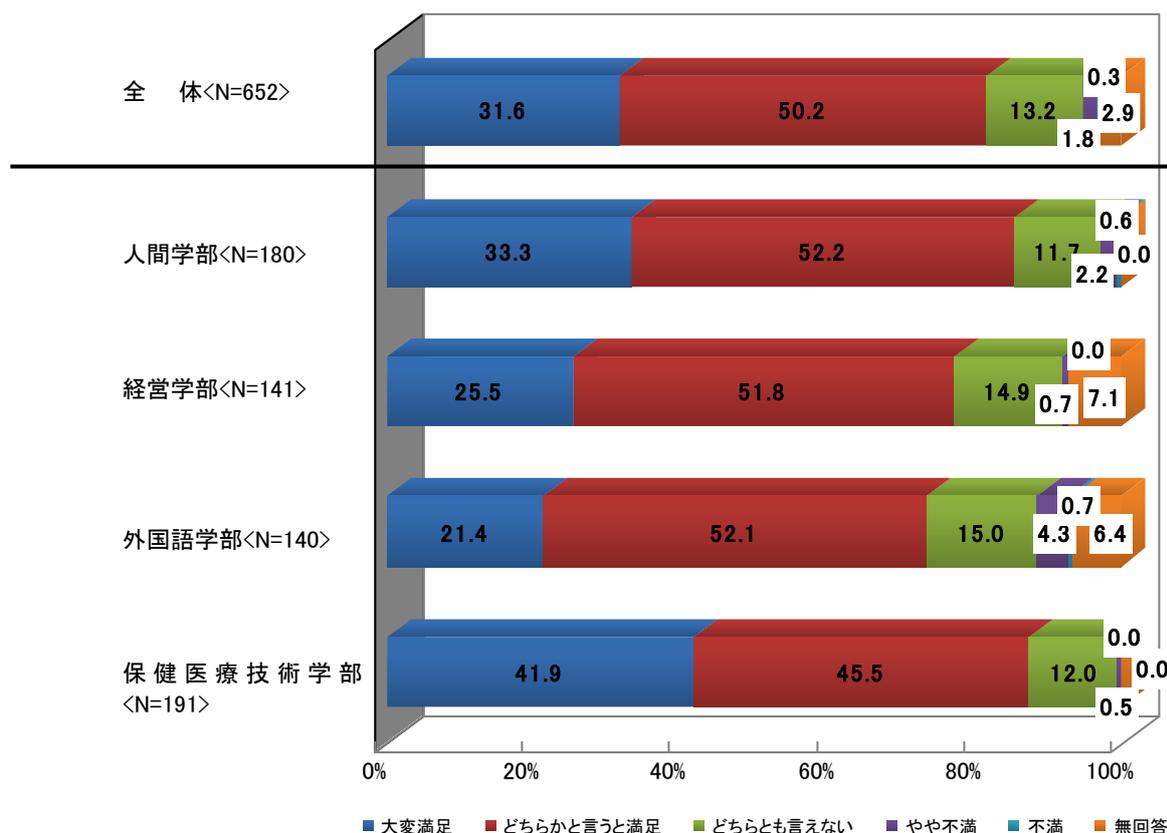
大学の学部別に見た場合、【経営学部】では「2）実習や留学などのこと」（41.8%）の《話題になった》が他学部よりも26～47ポイント低めである。【人間学部】、【経営学部】、【保健医療技術学部】の「3）就職や卒業後の進路のこと」は、それぞれ93.9%、90.8%、96.3%と9割を超えている。また、【保健医療技術学部】は昨年と比較すると「6）サークル活動のこと」が55.9%⇒42.9%と13ポイントと大幅に減少している。

## 8. 学生生活に対する総合満足度

卒業生全体で見た場合、〈大変満足〉(31.6%)、〈どちらかと言うと満足〉(50.2%)を合わせた「満足」では、81.7%と約8割となる。

【経営学部】と【外国語学部】の「満足」はともに7割に満たないが、【経営学部】では「不満」と答えたものはいない。

図 1-10. 学生生活に対する総合満足度



卒業生全体では、〈大変満足〉が31.6%と3割を超えており、〈どちらかと言うと満足〉と合わせて「満足」が81.7%となっている。「不満」は2.1%と1割に満たしていない。

昨年度と比較すると、〈大変満足〉は37.7%⇒31.6%と6.1ポイント減少しているが、〈どちらかと言うと満足〉が41.7%⇒50.2%と8.3ポイント増加しているため、「満足」項目全体では79.4%⇒81.7%と2.3ポイントの増加となった。

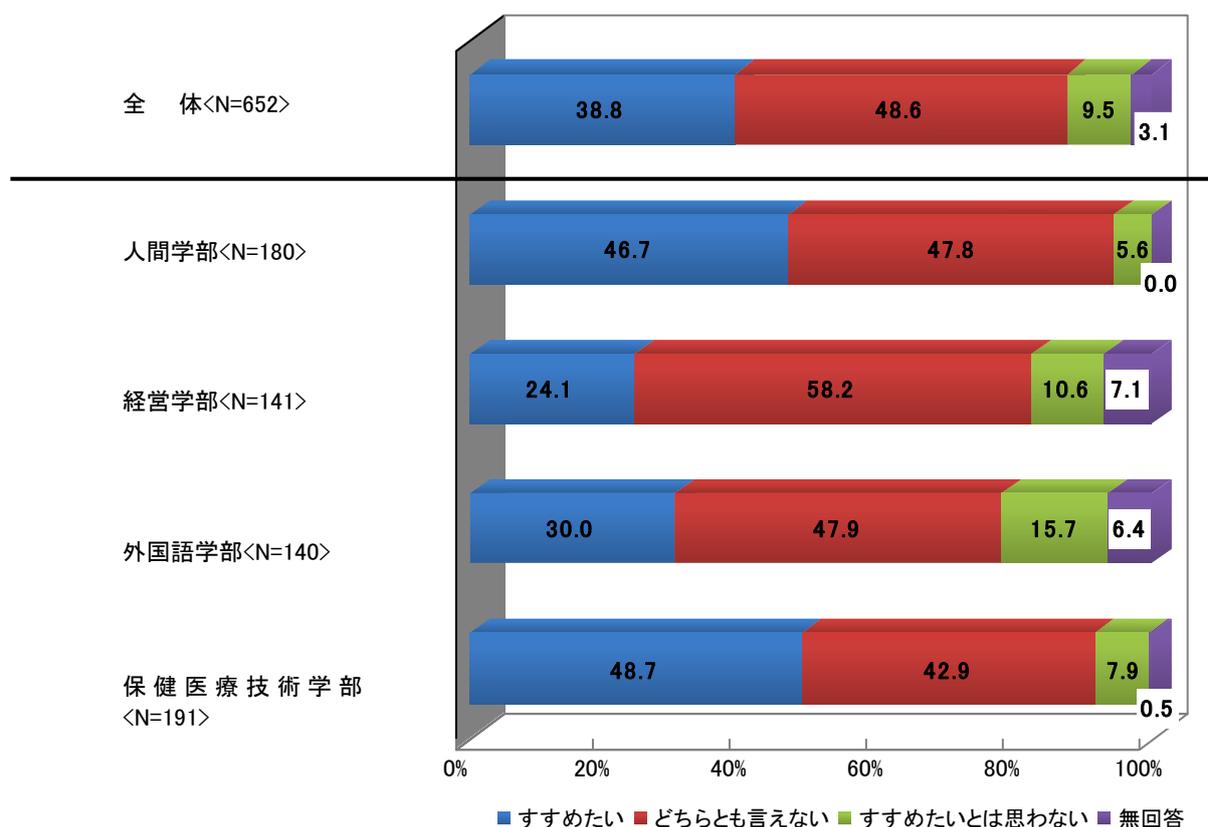
大学の学部別に見た場合、どの学部も〈大変満足〉は減少し〈どちらかと言うと満足〉が増加している。〈大変満足〉と〈どちらかと言うと満足〉と合わせた「満足」項目では、【人間学部】が昨年度87.0%⇒85.6%と1.4ポイント減少したが、その他の学部は昨年より増加している。特に【経営学部】は昨年度72.3%⇒77.3%と5ポイント増加した。

## 9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか

全体で見た場合、「どちらとも言えない」が48.6%と約5割となっている。

【保健医療技術学部】と【人間学部】の「すすめたい」は、それぞれ48.7%、46.7%とどちらも4割を超えている。

図 1-11. 家族や親族などに文京学院大学、短期大学への入学をすすめたいと思うか



卒業生全体では、「すすめたい」が38.8%、「どちらとも言えない」が48.6%となっている。「すすめたいとは思わない」は9.5%と約1割程度みられる。

昨年度と比較した場合、「すすめたい」が43.6%⇒38.8%と4.8ポイントの減少、「どちらとも言えない」は44.4%⇒48.6%と4.2ポイント増加している。その結果、「すすめたい」と「どちらとも言えない」のポイント差は0.8ポイント⇒9.8ポイントとなった。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】の「すすめたい」が一番高く48.7%と約5割となっている。【外国語学部】と【保健医療技術学部】の「すすめたいとは思わない」は昨年度と比べ3.3~7.0%増加しているが、【人間学部】と【経営学部】は0.5~1.7%減少している。

### **Ⅲ. 因果分析結果**

---

■ 総合満足度と各項目に対する満足度との因果関係

大学生活の総合的な満足度を高めるためには、どのような項目に対する満足度を高めることが重要なかを明らかにするため、「Q8. 総合満足度」と「Q6の10項目に対する満足度」との因果関係を、重回帰分析を用いることにより分析を行った。

卒業生の詳細な分析結果は以下のとおりである。

項 目		判定
1	授業全体の教育内容や方法	
2	学期ごとの成績結果	
3	ゼミナール教育や卒業論文指導	※※
4	大学での就職指導や進路相談	
5	学生相談や健康相談	
6	資格取得講座や留学制度	
7	大学からの日常の出来事や行事などの情報提供	
8	大学に在籍する安心感	※
9	大学に対する親しみやすさ	※※※
10	学生生活の充実度	※※※

※※※：総合満足度に非常に強く繋がっている最重要項目

※※：総合満足度に強く繋がっている比較的重要な項目

※：総合満足度にある程度繋がっている留意すべき項目

文京学院大学における学生生活に対する卒業生の総合満足度向上に関する評価項目を検証したところ

総合満足度に対して非常に強い関連性を持つ項目として、

- 9. 大学に対する親しみやすさ
- 10. 学生生活の充実度

が抽出された。このことは、本項目に対する評価を向上させることにより、総合満足度も高まることを示している。

また、総合満足度に強い関連性を持つ項目として、

- 3. ゼミナール教育や卒業論文指導

が抽出された。本項目は総合満足度向上に比較的重要である。

また、総合満足度に対してある程度の関連性を持つ項目として、

8. 大学に在籍する安心感

が抽出された。本項目は総合満足度向上に留意すべきである。